提言4 北陸地域の国際物流機能の利用促進

4-1 地域間・港間連携による 国際物流機能の利用促進

→地域間・港間連携による北陸地域が一体で取り組むポートセールスの実施



北陸地域国際物流戦略チーム シンポジウム (H19.3、金沢市)



北陸地域国際物流戦略チーム 西部ブロックワーキング (H19.10、敦賀市)

4-2 ITを活用した国際物流機能の 利用促進

→港湾の入出港に係る諸手続き及 びターミナルゲートのIT化の推進 北陸地域が一体となった 利用促進活動を推進



『4-1 地域間・港間連携による国際物流機能の利用促進』 の具体策と効果

地域間・港間連携による北陸地域が一体で取り組むポートセールスの実施

●期待される効果

- ・貨物集積による航路確保
- ・新たなビジネスチャンスの創出
- ・地域間連携による需要拡大

●具体的な効果

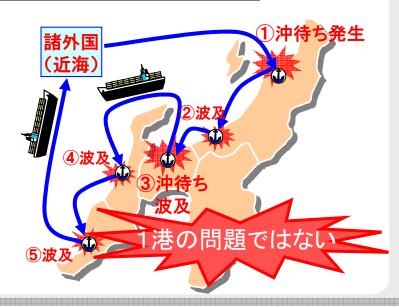
北陸地域が連携し新規航路(500TEU/週)を開設した場合、以下の経済効果が発現

トータルコスト縮減額:5億円/年

太平洋側から北陸地域へ貨物をシフト



連携した施策実施の必要性



『4-2 ITを活用した国際物流機能の利用促進』の具体策と効果

港湾の入出港に係る諸手続き及びターミナルゲートのIT化の推進

- ●期待される効果
- ・輸送手続きの簡略化・迅速化
- •情報提供による輸送効率化
- ・IT化に伴う連携促進

●具体的な効果

新潟東港のゲートシステムIT化に伴う効果

現状の場合(貨物量が16.4万TEU):約2億円/年

将来の場合(貨物量が9.4倍増加):約20億円/年

例)ゲートシステムIT化による効果

